

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ひめやまの里

(ユニット名) 3階

記入者(管理者)
氏名 山守 道枝

評価完了日 平成19年 9月 30日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			母体である病院と協力し地域で暮らしている独居の方や高齢者が家と同じように生活して頂けるように考えている。(理念)1.基本的人権の保護 2.家庭的な生活 3.生き甲斐のある生活		事業所としての理念をもう少し理解が得られるようなPRが必要。積極的に自治会や地域活動への参加をする。
			(外部評価)		
			事業所の理念は、開設時作成されており、利用者個々の生活を支えていけるよう作られている。		さらに今後、事業所が「地域密着型サービス」を提供する事業所として、地域の中で何を目指していくかということについて話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々理念について話し合う事が大切だと思っても業務に追われ職員との共有が出来ているとは言えない。		理念の実践に向けもっと具体的な日々の介護が必要。
			(外部評価)		
			理念を玄関に掲示され、管理者は、毎朝の申し送り時等、職員と話し合うような機会に、理念について話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入居の手続きの時や家族がホームに来られたときに適宜説明し理解が得られるように努めている。又、訪問してすぐのところに掲示している。		もっと目に付くところに掲示し理念の浸透に努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ホーム前の方々には常に声かけし入居者の様子や日頃の取り組み等を井戸端会議のように道端で話すことがある。		入居者と散歩をしたり、病院に受診時などにお会いした方には気楽に声をかけていただき立ち話をしている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夏祭り、秋の神輿には参加、ホームの夕涼み会に地域の方を招いて行っている。 (外部評価) 夕涼み会、忘年会、昼食会等、事業所の行事に地域の方々を招き、交流をされている。		自治会、行事の参加を増やしていくように検討したい。 今後、地区の公民館にスロープが設置されることとなった。事業所では、地域の方達との交流や公民館行事への参加等も予定されていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ホームの行事に地域の方の参加を呼びかけて行う。		夕涼み会、クリスマス会などで地域の高齢者にも目を向け関わりをもてるようにしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価で指摘されたことは、改善に向けて日々ホーム全員で取り組んでいる。 (外部評価) 職員会議時、職員全員が自己評価項目について意見を出し合い、管理者がまとめられた。自己評価作成時、自動ドアのロックについて、職員で話し合いをされた。前回の評価結果を受けて、ベッド柵について話し合い、日中は、職員の見守りで安全を確保できるよう取り組まれた。		緊急時の対応、職員のストレス解消、防災対策など。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回実施している。ホームの入居状況・行事などの報告をしている。又テーマを決めそれについて話したり、又困っている点をあげ意見を聞いている。その意見を参考にできる事から実施している。		地域行事のお知らせや取り組みの連絡をいただいたりしている。出席者が同じ顔ぶれになってきているので参加者について検討して色々な意見をいただき質の向上を目指したい。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、行事の報告をされたり、出席された利用者からは、職員のストレスの解消策に対する質問等も出され、職員で工夫していることについて話された。		今後は、ご家族も出席していただけるよう曜日や時間帯について工夫され、さらに、会議が事業所のサービスの質の向上に活かせるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			電話にて不明な点や解決策はその都度相談している。		
			(外部評価)		
			介護保険制度についての質問や県外の方の入居手続き時等に相談をされた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在、成年後見制度を考えている家族様がいますので、管理者と主治医と家族様と話し合いながら一緒に進めている。		定期的な勉強会・又は研修への参加を積極的に行うよう考えている。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			高齢者虐待防止関連法についての勉強会は実施していないが、ホーム内では職員の言動には注意を払っている。		職員一人ひとり理解を得られるよう勉強会を開催していきたい。又今後も職員間での言動・行動に注意を払いたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		(自己評価) 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に重要事項説明を時間をかけ十分に行い同意を得るようにしている。その時だけでは分からない不明点はいつでも相談にのっている。		
13		(自己評価) 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置をしている。何かあればすぐに誠意をもって対応するようにしている。入居者とはコミュニケーションの時間をとるよう心がけてはいるが不満・訴えにすぐ対応できるように努めている。		苦情・入居者からの不満・訴えにはすぐに対応し、職員間で改善策を話していきたい。こちらから、不満はないかの問いかけも必要。
14	7	(自己評価) 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 遠方に住んでいる家族には請求書送付時に近況報告を同封している。また電話でのやり取りも行っている。面会時適宜報告もしている。又定期的に新聞を作成している。金銭管理については約一ヶ月に一回お預かりしているお金を家族様と確認をしい、サインをいただいている。		家族様には今以上にホームでの生活ぶりを知っていただく為、お伝えできるよう取り組みたい。
15	8	(自己評価) 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約書にホームの苦情相談窓口及び苦情受付先の連絡先を明記して、説明をしている。家族から意見・不満・苦情があった際は速やかに職員・管理者が誠意をもって対応できるよう努めている。		家族にとり、苦情などは言いにくいと思うので、名前が分からないようなアンケートを作成して、家族様の意見なども反映させていきたい。
		(外部評価) ご家族の来訪時、ご本人の日々の暮らしぶりや健康状態等について報告されている。遠方のご家族には、通帳のコピーと近況報告を月1回、お手紙や電話で報告されている。	(外部評価) ご家族の来訪時、意見や要望を出していただけるよう声かけをされている。又、遠方のご家族からお手紙を頂くこともあり、事業所への要望等については、職員で話し合い反映できるよう取り組み、その結果についても報告をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の職員会などで意見交換をする場を設けている。日々ホームの改善に努めている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務希望をあらかじめ聞き家庭状況や就職時の契約に応じて対応しているが入居者の状況に合わせて体制を工夫している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の移動が現在見られるが、それでも馴染みの職員が対応することが重要であると感じている。新しい職員が就職してきた時は入居者に紹介している。 (外部評価) 職員の勤務は、両ユニット合わせたローテーションが組まれており、職員全員が全利用者と同様馴染みとなるよう工夫をされている。		離職等による職員の移動がないよう心がけていきたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修予定日の情報を仕入れ、順番に職員が参加できるように勤務調整し、職員の質の向上に努めている。 (外部評価) 職員は、外部研修や協力医療機関主催の研修に出席し、医療や介護についての知識等を深めておられ、又、毎月の職員会議の後には、勉強会が行われており、研修報告等もされている。		今後もレベルアップのために、積極的に研修に参加していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			研修等で知り合う同業者との関係を大切にし、意見交換をしている。他のホームの見学なども行う。		他の事業所での研修又は見学を取り入れるよう検討している。
			(外部評価)		
			地域包括支援センター主催で地域の福祉施設の交流の機会があり、親睦会やケアマネージャーの意見交換会にも参加された。		今後、さらにネットワークを広げ、職員や利用者もともに交流できるような機会を作られる予定となっていた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			愚痴をこぼすことでストレス発散になっている職員も多いが、度が過ぎる前に相談できる、してきてもらえる関係を作り上げていきたい。そのために職員間での親睦会(食事会)を開催している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			就業規則の作成や健康診断の実施を行い、体調管理には十分な注意を払っている。又個々に勤務状況を話される機会を設けている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前には、本人・家族とお会いし、事前面接で時間をかけ多くの情報・思いを聞いている。入居後、安心して生活していただけるよう職員間で情報を共有している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査で時間をかけお話を聞くようにしている。深く立ち入らない程度に家族環境をお伺いし、本人と家族・ホームとの関係作りを心がけている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居者の際ホームの見学をしていただき、本人の意向と・家族の意向を聴取している。そのうえで実際携わってみて、必要と思われる事柄をケアプランに反映させ、話し合いなどをおこなっている。必要に応じて他の事業所と連絡をとっている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前には、必ずホーム見学をしていただき、入居前で過ごしていた所に必ず行き、ゆっくり話をしていいる。入居当日は必ず家族様にはある程度落ち着くまでは居ていただくようにしている。 (外部評価) 法人代表者、職員が協力し合い、地域の独居の方のお宅を何度も訪ね、信頼関係を築きながら入居に至ったというような事例もある。		慣れるには時間がかかる為、本人さんのペースを尊重している。少しでも安心して過ごしていただけるように支援していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 昔の苦労話を聞いたり、思い出話をきいたり・・・と人生の先輩として介護を通じて色々教えられたりすることが多々ある。そういった会話の中で一緒に過ごしながら支えあう関係を築いていっている。 (外部評価) 国語辞典を読むのが好きな利用者の方が、いろいろな言葉を職員に教えてくれる。又、「枕草子」を詠むのを聞かせてくれたり、年中行事や習わし等を教えていただくこともある。		今後も喜怒哀楽を共にし支えあえる関係を今以上に築きあげていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事は必ず家族にお知らせし参加できる家族にはしていただいている。又家族との連絡を取りながら信頼関係を築くようにしている。常に家族の立場になって考えるよう努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出時には必ず家族にも連絡をとり一緒に行ける時は来て頂き交流を深める機会を作っている。電話でのやり取りも自由にしていただいている。		一緒に楽しく過ごしていただける時間を増やしていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 時節に応じて絵手紙や電話でコミュニケーションをとっている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 毎日レクリエーションを行い入居者同士が交流を深める時間を確保している。お互いの居室を行き来し居室でゆっくり話されている方もいる。		共通の話題を見つけ出ししていけるとよい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 時折り現状をお伺いし、相談に応じるようしている。		今後も継続的な関係を大切にしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人の希望はあるものの、なかなか希望通りには行えていないところがある。		本人の意志を尊重し、生きがいのある生活が送れるよう、スタッフが把握していかなければならない。
			(外部評価)		
			職員は、利用者との日々の会話等の中からご本人の思いを探っておられる。ご自分の思いを表しにくい重度の方については、「自分の家族だったらどうか」と職員は、その人の立場や気持ちになって考えておられる。		さらに、今後も利用者個々の情報収集の工夫を重ね、アセスメントの充実を図っていかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時前の事前調査や家族からの情報で、生活環境等を把握している。		本人にあったレクリエーション等を行っており、嫌いな事は行わず、本人が満足できる事を実施している。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			無理強いせず本人のペースで過ごしていただいている。		一人ひとりやりたい事は違うと思うので、なるべく希望にあった生活が送れるように支援する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人・家族と話し合い、本人に見合った介護計画を作成し、介護計画に基づきケアを行っている。		年に数回カンファレンスを行い、介護計画の内容について話し合いをしている。又本人・家族の意向も聞き、見直し等もやっている。
			(外部評価)		
			直接ご本人に希望を聞かれたり、受診時に主治医等にも相談され、介護計画に反映されている。		さらに今後も、ご本人の求めている暮らしを探りながら、「ご本人がより良く暮らすために」ご本人の習慣や生活を事業所でも継続できるよう、取り組んでいかれること等も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			期間に応じて見直し(基本的に3ヶ月に1回)、又変化等があった場合は家族様の意向をふまえた上でその都度見直しを行っている。		本人・家族・職員の意見を取り入れながら介護計画書を作成している。
			(外部評価)		
			健康状態や精神面に変化が生じた場合等、随時に見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にファイルを用意してその中にはケアプランをさめるようになっている。介護記録は毎日しているもののケアプランに沿った介護記録がまだ出ていない。		記録が同じようなものになってしまっている。プランを活かせるような記録にしていく必要がある。
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療連携体制にて異常時の早期発見・対応ができるようになっている。又家族の同意を得て異常時に迅速に処置ができるよう前もって既往歴等、看護師にも知らせている。		
			(外部評価)		
			協力医療機関のリハビリに通っている利用者もおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防に関しては消火訓練及び避難訓練の実施、地域ボランティアによる踊りや食事会、中学生の職場体験の受け入れ等。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人又は家族の希望に応じて、訪問美容サービス・訪問歯科の利用している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ホームの方が自宅に帰宅した際には自宅での様子を見に行っていたりように連絡を密にしている。		運営推進会議への参加と地域の情報交換。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期的に受診し健康管理に努めている。又、必要な生活状況も情報交換し参考にしている。		個々の希望する専門医（眼科、耳鼻科、皮膚科、など）への受診を行っており往診による診察も行っている。
			(外部評価) 協力医療機関以外にも、個々の希望に応じて、他の病院でも受診しておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 医療連携医による診察で必要と思われるときには専門医への受診、紹介を行う		認知症の知識、理解を深め早期に症状の把握に努めたい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携している医師・看護師と定期的な通院と他にも困ったことについて日々早い段階での対応をしている。		看護師はホーム一人ひとりの健康状態を把握できるようにし、必要な時はかかりつけ医との連絡をしている。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した状況や入院後の経過を常に医師や看護師長と連絡を取り合っている。		医師、看護師長、ホーム、家族との連絡を看護師は密にする。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時に看取りについてのアンケート及び希望を聞き病状の段階でかかりつけ医と家族、ホームとで話し合うようにしている。 (外部評価) 重度化や終末期のことについては、入居時、ご本人、ご家族に説明し、要望や希望を聞いておられる。		家族と本人の希望に添えるように出来るだけ対応している。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族の希望、本人の希望を聞き、そのうえでホームで対応出来る事を話し合い医療機関へもその事を伝え、準備、対応してもらえるようにしている。		重度化・終末期の対応を職員も勉強が必要。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 電話でのやりとりや、生活状況記載用紙をお渡しし情報交換しながら住み替えによるダメージを防いでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は入居者に対し不快を与えることなく、家族のような気持ちで接するように心がけている。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>ご本人宛の郵便物については、ご本人に確認を取り、開封をされている。内容をご本人に説明し、ご家族に連絡されている。</p>					
<p>利用者の精神状態が不安定な時等の職員の言葉かけや対応については、職員同士で注意し合っておられるが、今後も、工夫や配慮について話し合いを重ねていかれることが期待される。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>レクリエーションや食事の希望を入居者に自己決定していただくよう声かけや選んでもらうことを促しているが、他の入居者に気を使い何も言われない方もいる。</p>		<p>希望を出しやすいように、あらかじめ選択できるような工夫をしていく。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者のペースでの対応をするよう心がけているが、時には一人ひとりの対応に追われ、少し慌ただしくなる時がある。食事や起床時間は本人のペースで行っている。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>ご本人の希望等を踏まえ、事業所内での生活を支援しておられる。買い物や外出の希望については、職員の人員や時間のこともあり、希望に沿えないような場合もある。</p>					
<p>さらなるケアの質向上を目指し、個別で細やかなケアを提供していくためにも、今後も職員で話し合い、支援体制について工夫を重ねていかれることが期待される。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人や家族の希望がある時に、訪問理美容を利用している。身だしなみは寝癖がついている時は、寝癖直しを使用し、食べこぼしによる着衣の汚れは清潔を保てるよう努めている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好みを聞いて外食することもある。楽しい話題を中心に談話しながら食事をしている。準備や食事、片付け等は入居者さんとスタッフで協力して行える方はしている。 (外部評価) 利用者と職員は食事の味付け等も相談しながら、一緒に食事の支度をされていた。後片付けを率先して行っておられる利用者の様子もうかがえた。できるだけ、ご自分で食べることができるよう食事形態にも気配りされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 日々のおやつに入居者のリクエストを取り入れたり、又外出の際に好みのものを注文され召し上がられている。現在タバコや酒を飲まれる方はいない。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 毎日排泄チェック表を用いている。それにより排泄パターンを把握し、状況に合わせてオムツの方も、トイレで排泄していただけるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴をしたことを覚えていない方は清潔面を優先し、職員が判断し進めているが、それ以外の方は希望を伺い、ゆっくりと又職員と雑談しながらリラックスして入浴していただけるよう努めている。		一人で入浴できる方は限られているが、少しずつ入浴中でも自立支援として見守りながら出来ることを進めている。今後の取り組みとしても継続していきたい。
			(外部評価)		
			入浴が好きな方が多く、希望を聞きながら支援されている。中には入浴を嫌がる利用者もおられるが、足浴等を楽しんでいただけるようすすめておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			時期に応じて室内の温度や寝具類、居室の明るさに気配りし一人ひとりの生活習慣、体調等に応じ、休息、安眠を支援している。		気持ちよく安眠、休息していただけるよう室内の衛生面、整理、寝具類の交換等(日時を決め)毎日の清掃を行い進めている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			日常生活の中で個人的にできる事を進めているが全体的に見て、生活歴を活かした役割・楽しみ事に関してまだ支援が足りていない。気晴らしに関しては散歩や買い物による支援を進めている。		介護レベルの高い方、意欲のない入居者に対して、今後職員間で話し合いし統一した支援を進めていく必要がある。
			(外部評価)		
			童謡がお好きな利用者の方が多く、ボールを使ったレクレーション時にも歌いながら行っておられる。視力が弱っておられる方が得意な縫い物をされている様子がうかがえた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			外食・買い物の際、理解の出来る方にはお小遣いを持ってもらい、金銭の払いをしていただいている。その他の方は隣で職員が支払いしているのを見ていただいている。		お金を所持し使える支援に関しては日常的にみ取り取り組みが少ない為、今後の課題にする必要がある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			希望や状況に応じて外出支援は実施しているが、ホーム内で過ごす入居者の方もおり、希望上にそって実施しきれていないこともある。		一人ひとりの希望や状況を把握し実施していくには時間の工夫、日常生活の見直しをし取り組んでいく必要がある。
			(外部評価)		
			散歩されたり、近くのスーパーにお好きなものを買って出かけることもある。		さらに、利用者個々の希望等も探りながら、それぞれが外出して楽しめるような機会を作っていけることが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外出・レクリエーションを季節に応じて計画し、ご家族様にも声かけをしすすめている。		外出支援の取り組みは進んでいると思うがご家族様の協力が多くなるよう取り組んでいきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望により電話をしたり、取次ぎ等、又手紙のやり取りの支援はできている。		今後も電話や手紙の支援に関して、絵手紙等の楽しみをもって進めていけるよう取り組んでいきたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			気軽に訪問していただき、居室やリビングで楽しく会話し過ごしていただけるよう進めている。		訪問された際、季節感を感じ、気持ち良く過ごせるようリビング内の雰囲気作りにも取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 現在拘束している入居者はいない。		身体拘束について勉強会を開き理解を深めていくことが必要。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 構造上、各居室に鍵についてはいるが、職員がかかる事はない。玄関の自動ドアが中からは出られないようになっている。デイサービスが1階にあり、デイからの要望となっている。		デイサービスの職員との話し合いが今後も必要。
			(外部評価) 玄関は自動ドアで、現在は、中からは自由には出られない仕組みとなっている。		事業所では、自己評価作成時、職員で玄関ロックについて話し合われている。理念等も踏まえ「鍵を掛けないための工夫」について、利用者の立場に立って話し合ってみてはどうだろうか。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 一人で階段を降りたり、エレベーターに乗ることがないよう、必ず一人の職員は見守りでリビングで、レクリエーションをしながら注意をはらっている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 物盗られ妄想の方がおられるが、その方の金銭はホームで全て預かっているが、その他の方は少額は御自分で管理されている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 消防署の方に来ていただき防火訓練をしていただいた。ホーム内で事故等が起きた場合は、なぜ起こったのかを考え改善すべきところはないか検討している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時に備えてマニュアルを作成している。24時間すぐに病院に連絡がつくようPHSを用意して対応している。訓練は新しい職員には出来ていない。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防所の方に避難誘導について実際に教えていただきながら行った。が地域への働きかけはまだ不十分である。		今後地域の方への協力を得られるよう働きかけていきたい。
			(外部評価) 夜間の職員2名での対応方法について、消防署の方に教えていただいた。		運営推進会議時、地域の方から災害時の避難についての意見が出されており、今後、さらなる協力体制を作っていられることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に家族様にお話し、入居後にも改めて知り得たリスクについては対応策、家族の説明もその都度行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員全員が異常時をいち早く気づくよう、既往歴等を把握してもらうようにしている。異常時は速やかに対応できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとり現在使われている薬が分かるように薬局からの効能書きを薬箱に入れておき確認して分包し服薬できるようにしている。		内服するときにも日時、名前を何度も確認してから服用していただくようにする。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日ストレッチし腹部マッサージも取り入れている。牛乳やヨーグルトを適宜食して水分補給に努めている。又排泄チェックをし排泄状況の把握に努めている。		運動やマッサージがあまり好きでない方もいる。適宜下剤で調節されている方もいるが、なるべく使用しないように自然排便を促せるようにしていきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ほとんどの方が毎食後に口腔ケアをしている。自力で歯磨きをされている方は朝と寝る前にされている。		自力で歯磨きされている方は磨き残しがある、もう少し丁寧に磨くように声かけをしていきたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量チェックし把握できる食事量の低下があれば適宜主治医の指示を仰ぎ栄養補給ができるようにしている。又家族の協力を得て援助している。		食思の低下や認知症の進行により食事を自力で食べない方がいる。食事の形態を工夫したり職員により食事介助を行っている。出来るだけ経口摂取による栄養補給をしていきたい。
			(外部評価) 職員は、食事時、利用者個々にお茶をすすめておられた。居室にも急須を準備され、お好きな時にお茶が飲めるようにされていた。利用者の飲み込みの状態等を把握され、食材を食べやすく調理されていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染マニュアルを作成し実施している。又、台所の清潔、清掃を心がけ、手洗い、うがいを徹底している。		インフルエンザ流行時は特に手洗い、うがいを面会者にも実施していただくようにお知らせしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食事作りをした方が台所、調理用具等の衛生面に気をつけ、食材は外部より前日に届くようになっている。		
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 出入り口のところには花を植え、入り口には観葉植物を置いている。又傘立ても置いている。又入り口正面には季節感を現すような物を随時飾っている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 一般的な家具を使用し照明などは明るすぎず、又冷たい雰囲気にならないような照明と色彩にしている。季節のお花を飾ったり、壁には季節を感じる飾りをしている。 (外部評価) 開放的な共用空間に大きなテーブルを配し、音や光の調節にも気を付け、季節の花々を生けたり、秋の果物の絵も飾っておられた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングに食卓台の他にソファと大型テレビがあり、そこで自由に過ごしていただけるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			ホームでベッドとチェストは用意しているが、その他は個人の馴染みの物を持ち込み個々の生活にあった場所となっている。		
			(外部評価)		
			おしゃれに関心のある方のお部屋には、いろいろな洋服が掛けられており、すぐに選べるようになっていた。趣味の本を枕元に置かれている方やビーズ作りの好きな方は作品を置かれる等、その人がうかがえる居室となっていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			各自居室に居ない時は窓を開け換気をするようにし、温度調整はご本人さんの体調により職員が最終的には行っている。共有スペースの換気も適宜行っている。		
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			エレベーターや要所には手すりが設置されている。又浴槽には滑り止めマットを使用。ホーム内は段差もなく安全に過ごせる。居室のベッドも高さが入居者により合わせられるようになっている方もいる。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			居室入り口には入居者の目線に合わせた高さで大きな表札を掲げ、場所間違いをされた時にはそっと案内している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関には観葉植物を置き、又プランターに花を植えている。ベランダにもプランターに花を植えているも手入れは職員がすることが多い。		ベランダの空間が狭いなりにも有効活用していきたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入居者の思いや、願いを分かっている事もあると思うが、今後は今以上にコミュニケーションを大切にし、ニーズを把握し、一人ひとりに適切な対応を行っていききたい。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日々の業務に追われ、ゆっくり関わる時間がない時もあるが、毎日のレクリエーション、食事時、水分摂取時などの時に一緒にゆったりと過ごす時間がある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者それぞれ無理強いすることなく、自分のペースで生活していただいている。重度の方は職員の声かけが必要な状況である。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出や行事の際は生き生きとした表情がみられ、又昔の話をされる時も表情が豊かになる。職員にゆとりがない時はやはり入居者に反映されてしまっていると思う。生き生きとした時間が増えるよう職員間でも検討していききたい。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	近所のスーパーへ買い物に行く人が限られている。希望に沿って外出の機会を設けていきたい。外出を好まない方もいらっしゃいますが、職員間で対応していききたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療連携体制をとっており、協力病院による定期的な受診又は往診を受け、健康管理が保たれている。異常時のマニュアルも作成しており24時間対応できるようになっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全ての要望には応えられていない面もあるが、入居者の要望をうまく聞きだし、安心した生活を送っていただけよう対応していききたい。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時・電話連絡・遠方の家族様には手紙にて入居者の生活状況などを報告し、信頼関係を築きあげている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	ホームには必ず、どなたかの家族・知人・身内の方が訪ねてくるが、近所の方が訪ねてくることは頻度的に少ない。

項 目	取 り 組 む の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	判 断 し た 具 体 的 根 拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ③ ④	運営推進会議に出席していただいたことにより、地域行事を教えていただいたり、公民館の活用を促していただいたりと、理解や協力が得られるようになった。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② ③ ④	運営推進会議に出席していただいたことにより、地域行事を教えていただいたり、公民館の活用を促していただいたりと、理解や協力が得られるようになった。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ③ ④	もっと楽しいことをしたい、外出をしたい・・・などの思いはあると思うが、本人の要望を聞きできるだけ希望に沿うようなケアをしている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ③ ④	家族様にも生活するうえでの希望や意見をお聞きし、プランを立て、納得していただき出来る限りの支援をしている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・何よりも『私の家族だったら!』と、強い気持ちを持ちながら支援に取り組んでいます。
- ・一人ひとりに作成しているケアプランに沿って満足していただけるようなケアに取り組んでいます。
- ・正面には病院があるため、緊急時は早急に対応できるよう体制がとれており安心して生活していただけます。
- ・交通の便が良く家族がホームへ立ち寄りやすい。又近くにはスーパーが多くあり買い物しやすい環境である。